

一般社団法人 日本電線工業会における 自主行動計画フォローアップ調査について

令和6(2024)年3月8日

調査部 部長

大井 淳

1. これまでの取組（普及活動等）

- ・2016年2月取引適正化ガイドライン（自主ガイドライン）を策定

- ・工業会顧問弁護士による研修会の開催：

2017年度から、年1回の“取引適正化ガイドラインフォローアップ”研修会を開催。

2022年度は東京・大阪会場及びオンラインのハイブリッド式で聴講者113名にて開催、2023年度は3月25日に同じ規模で開催予定。

- ・2016年～2023年にかけて計9回の“取引適正化ガイドラインフォローアップ”アンケートを実施：

今後も年1回のアンケートを実施し普及に努める。

2. 令和5年度フォローアップ調査結果（概要）

- ・ 調査期間：令和5年10月27日～11月6日
- ・ 調査企業：日本電線工業会の会員企業 116社を対象
- ・ 回答企業：20社（前年度 = 18社）
- ・ 回答率：17.2%（前年度 15.3%）

1. 令和5年度フォローアップ調査結果（概要）

概観

- 電線業界の取引適正化ガイドラインの浸透、活用が進んでいる。
- 取引適正化重点課題
 - ✓「価格決定方法の適正化」は、発注側/受注側の協議を「実施した」/「応じてくれた」がともに10割も、「労務費/原材料/エネルギー価格」の反映には課題が残る。
 - ✓「原価低減要請の改善」は、不合理な要請につき、受注側/受注側ともに10割となった。（前年度は7割）
 - ✓「支払い条件」は、全て「現金」が発注側で8割、受注側で4割となっており、引き続き、現金化への取組を継続する必要がある。また、手形等サイトについては、120日を超える回答が残っており、サイト短縮も課題。
 - ✓「約束手形の利用の廃止」は、「2026年までに利用を廃止する予定」との回答が3割。
 - ✓「知的財産に関する適正な取引」は、知的財産権等を含む取引がない割合が7割。ある場合も概ね実施。
 - ✓「働き方改革」は、影響度につき、「特に影響無し」が、発注側9割超、受注側7割。

2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

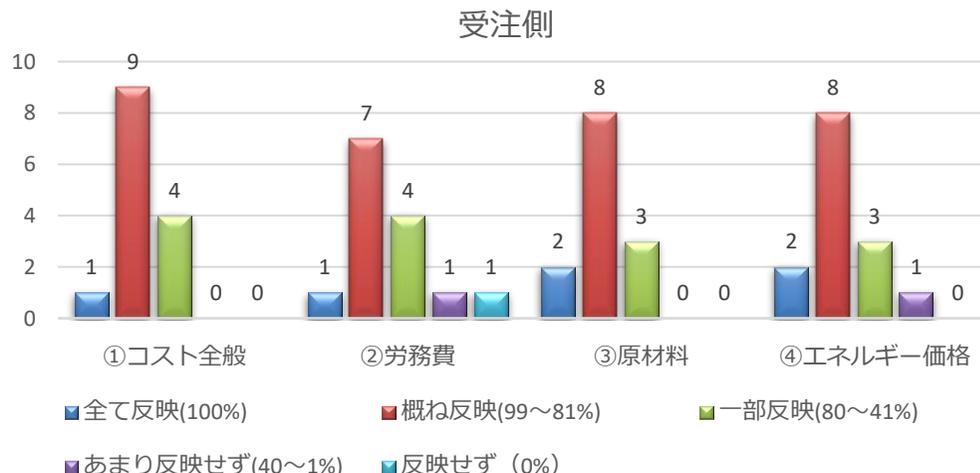
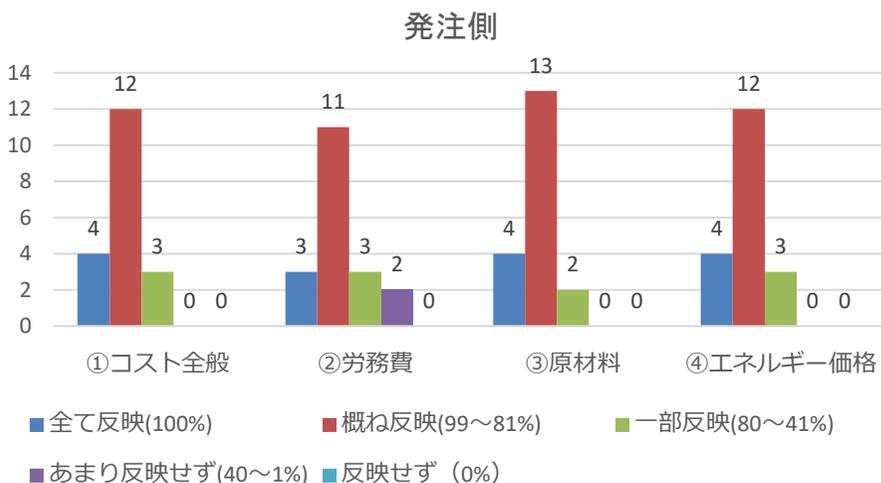
重点課題に対する取組①価格の決定方法

【分析結果・今後の課題】

- ・概ね反映できたと回答した割合は、受注側が少ない。
- ・「労務費の変動」を反映できた割合が少なく、課題あり。
- ・「原材料価格の変動」を反映できた割合が最も高くなった。
- ・電線業界の取引適正化ガイドラインの浸透や活用の効果と考えられる。

【設問と回答】

設問. 2023年度に適用する単価の決定・改定にあたり、各コスト増加分をどの程度反映できましたか。



2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組①合理的な価格決定

【課題を踏まえた今後のアクション】

- ・ 個社との意見交換を通じ、合理的な価格決定が行えるよう、改善に努める。
- ・ 価格交渉促進月間の取組を会員企業に広く周知するとともに、研修会を継続する等の取組を行い、次年度フォローアップ調査では数値が改善されるよう努める。

2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組②原価低減要請、協賛等

【分析結果・今後の課題】

- ・発注側で客観的な経済合理性や十分な協議手続きを欠く原価低減要請を行わないことを「徹底できた」と回答した割合は10割。
- ・受注側で「受けたことはない」と回答した割合も10割。

【設問と回答】

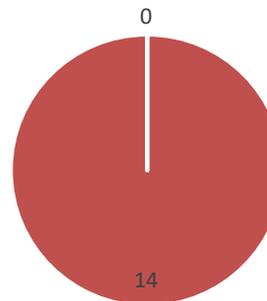
設問. 直近1年間の「仕入先（発注先）に対する不合理な原価低減要請の実施状況」 / 「販売先からの不合理な原価低減要請状況」についてお答えください。

発注側



- 1. 「100%の仕入れ先に不合理な原価低減要請」
- 2. 「99～81%の仕入れ先に不合理な原価低減要請」
- 3. 「80～41%の仕入れ先に不合理な原価低減要請」
- 4. 「40～1%の仕入れ先に不合理な原価低減要請」
- 5. 「不合理な原価低減要請は未実施」

受注側



- ①受けた
- ②受けたことはない

2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

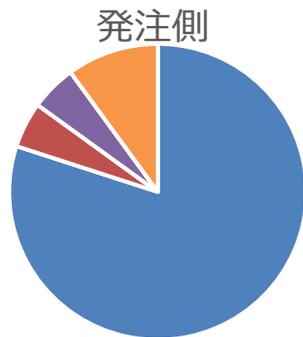
重点課題に対する取組③支払条件

【分析結果・今後の課題】

- ・現金払化の割合が、発注側8割、受注側4割。
- ・手形サイトが120日を超える回答が残り、改善の取組が必要。
- ・2026年までの約束手形の利用を廃止する予定という回答は3割という結果となっており、より一層の取組の推進が必要。

【設問と回答】

設問. 下請代金当を手形等で「支払って」 / 「受け取って」 いる場合、その割合はどれくらいですか。



■ 全て現金(0%) ■ 10%未満 ■ 10~30%未満
■ 30~50%未満 ■ 50%以上 ■ 全て手形等



■ 全て現金(0%) ■ 10%未満 ■ 10~30%未満
■ 30~50%未満 ■ 50%以上 ■ 全て手形等

2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組③支払条件

【課題を踏まえた今後のアクション】

- ・代金の現金払化は改善傾向にあるが、サイトの短縮化は以前道半ば。サイトの短縮化（60日以内）の達成に向け、会員企業への周知徹底を図る。
- ・2026年までの約束手形の利用の廃止に向けては、代替手段となる現金払化や電子的決済手段への移行がスムーズに行えるよう、個社との個別相談に努める。

2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組④型取引

【分析結果・今後の課題】

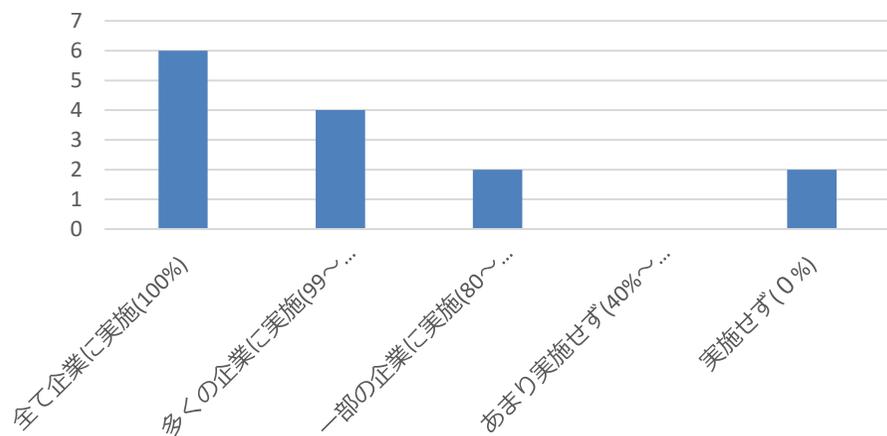
- ・ 型取引における取引条件の明確化は、発注側、受注側で7割の実施。
- ・ 型代金又は型製作費の早期の支払いについて、3割で実施されておらず、改善の取組が必要。

【設問と回答】

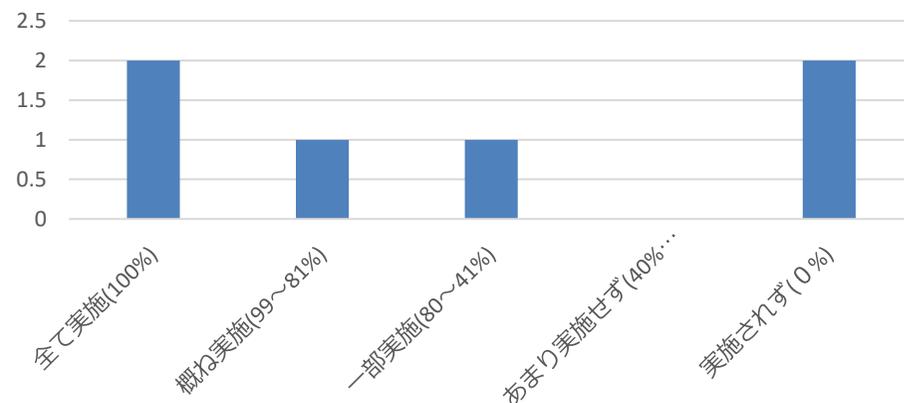
設問. 直近1年間で、型管理における適正化や改善への取組は実施できましたか。

①書面等による取引条件の明確化、②型代金又は型製作費の早期支払い、③量産終了後の型の保管費用の支払い、④不要な型の廃棄費用の支払い

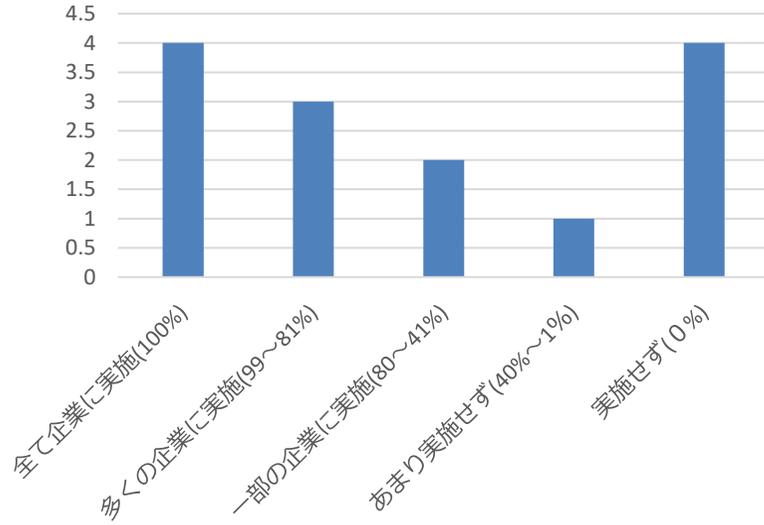
①取引条件の明確化（発注側）



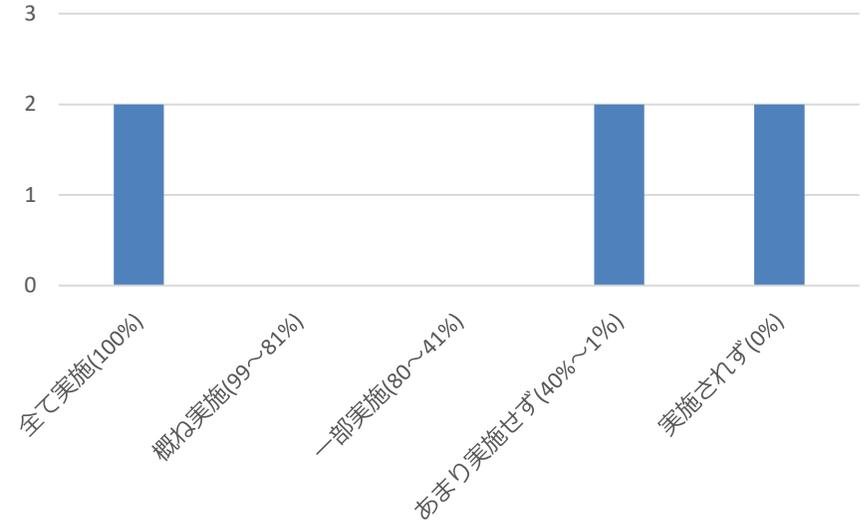
①取引条件の明確化(受注側)



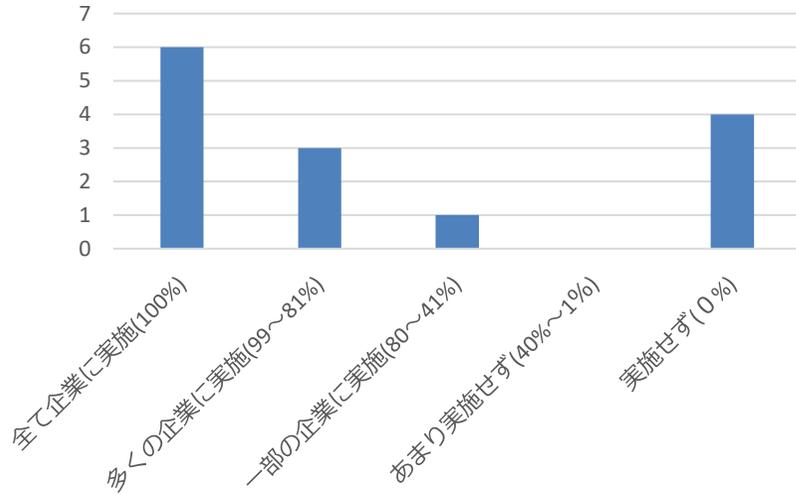
②型代金又は型製作費の早期支払い(発注側)



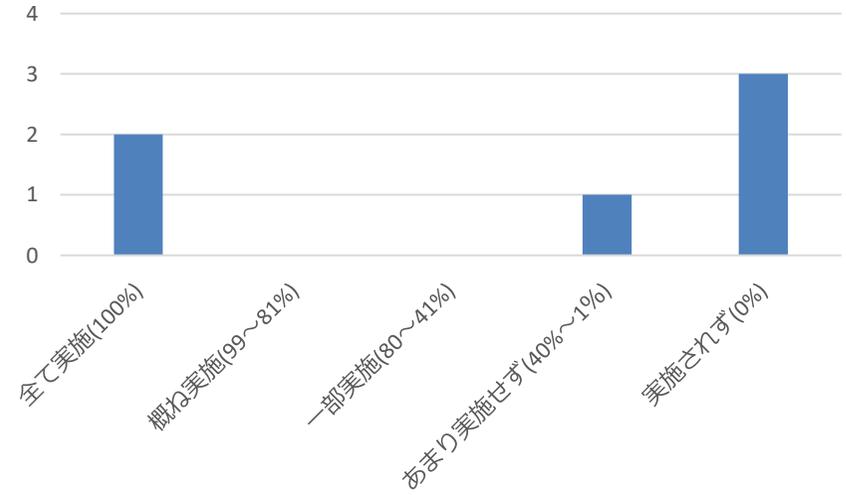
②型代金又は型製作費の早期支払い(受注側)



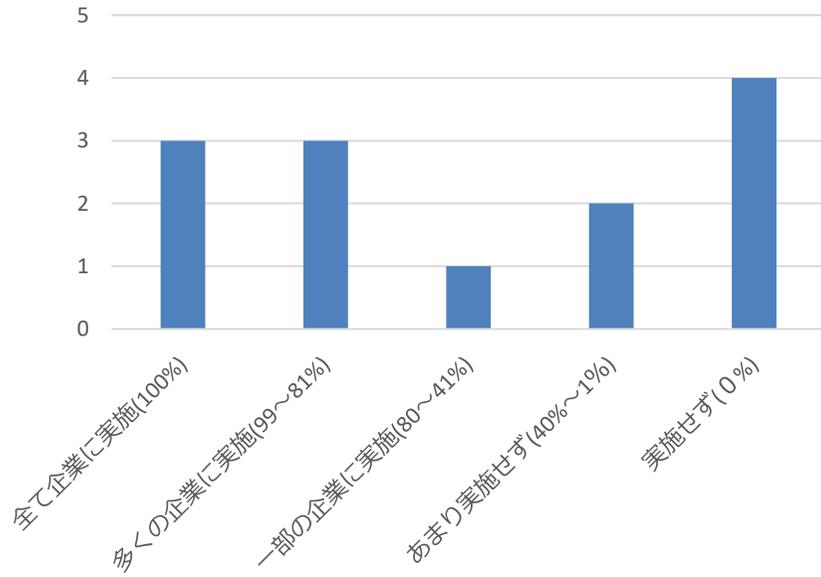
③量産終了後の型の保管費用の支払い(発注側)



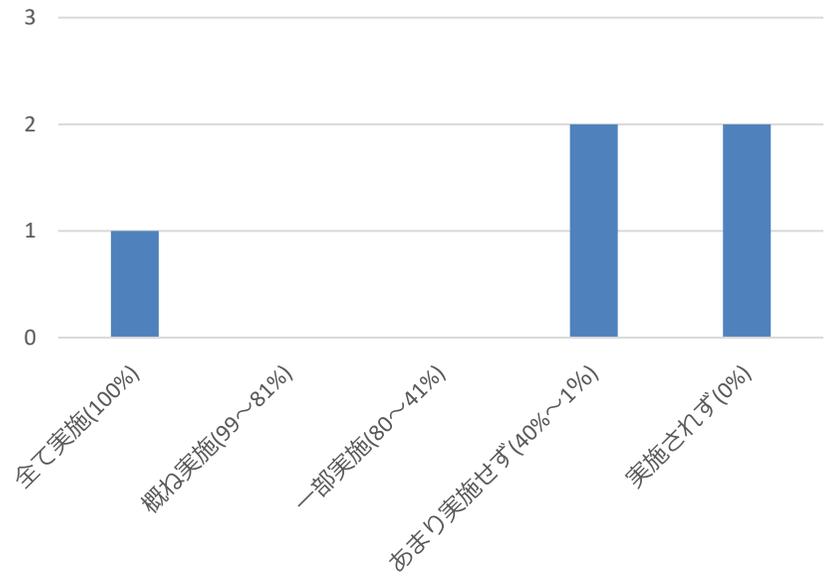
③量産終了後の型の保管費用の支払い(受注側)



④不要な型の廃棄費用の支払い(発注側)



④不要な型の廃棄費用の支払い(受注側)



2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

重点課題に対する取組④型取引

【課題を踏まえた今後のアクション】

- ・ 型取引に関する取引条件の明確化については、概ね進んでいるが、更なる徹底に向けて、会員企業への周知徹底を図る。
- ・ 改善の進まない会員企業に対しては、個社との個別相談に努める。

2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

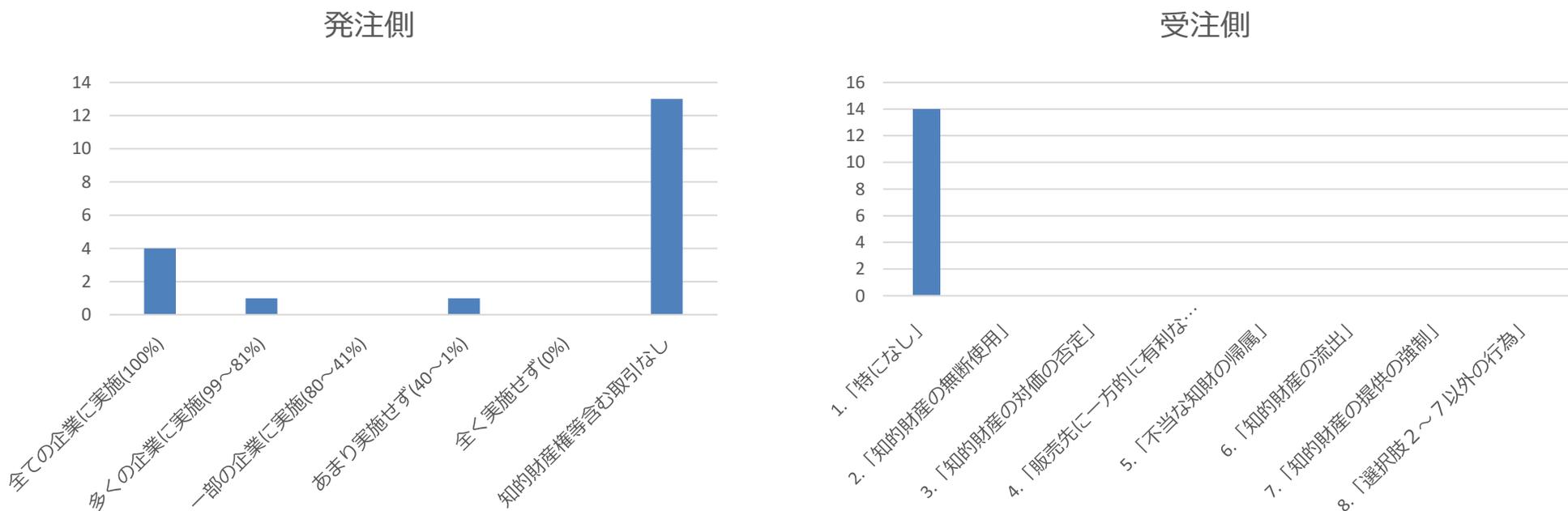
重点課題に対する取組⑤知財

【分析結果・今後の課題】

知的財産権等を含む取引がない割合が7割。ある場合も概ね実施。

【設問と回答】

設問. 直近1年間で、知的財産権等*を含む取引において適正な取引を実現するための取組の実施状況をお答えください。（発注側）／貴社の保有する知的財産権等*について、知的財産権の取得、秘密保持契約による営業秘密化等の管理保護を図っていますか？（受注側）



2. 令和5年度フォローアップ調査結果と分析

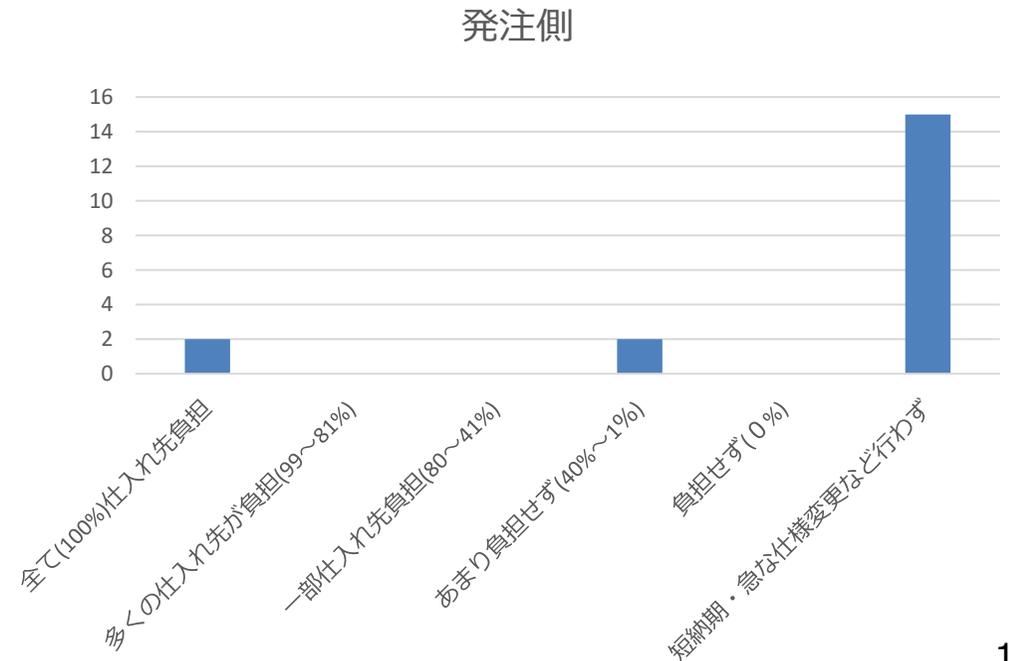
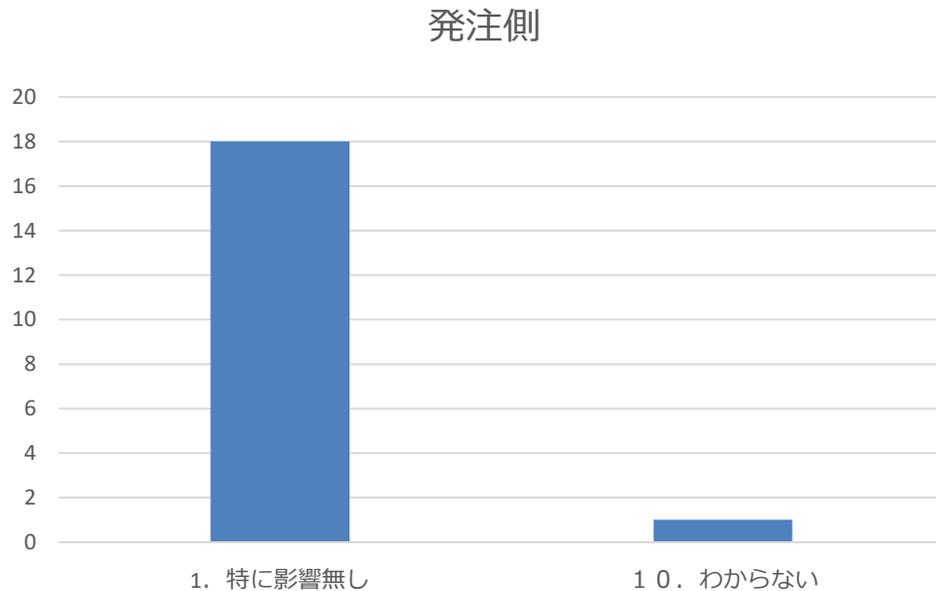
重点課題に対する取組⑥働き方改革

【分析結果・今後の課題】

- ・影響度につき、「特に影響無し」が、発注側9割超、受注側7割。

【設問と回答】

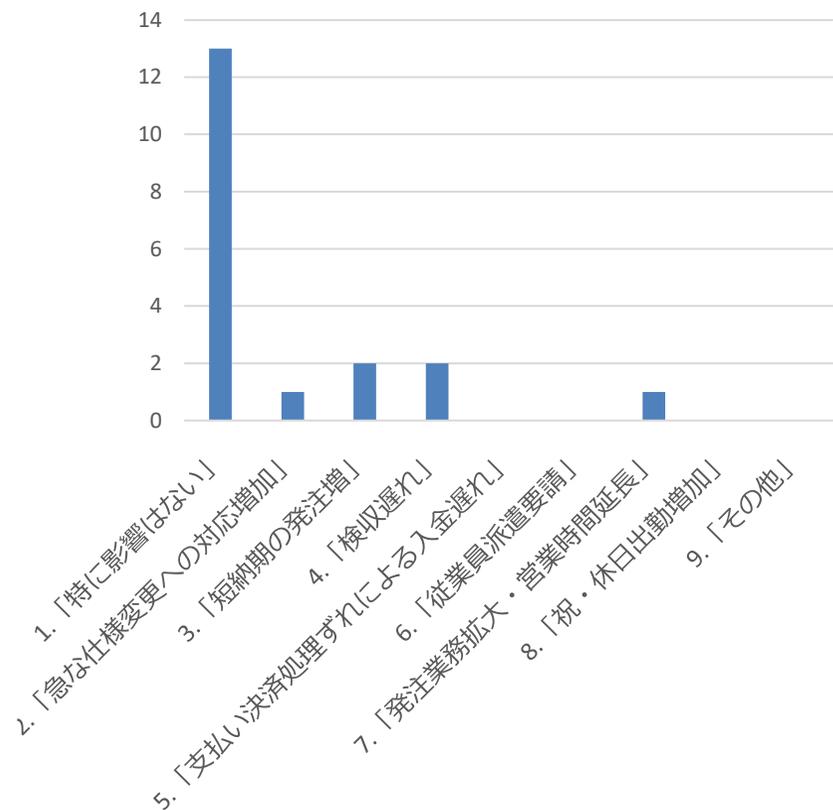
設問. 貴社が行った働き方改革に関する対応*の結果、仕入先（発注先）に対しどのような影響がありましたか。またこれにより生じた短納期発注や急な仕様変更を行った際のコスト負担状況をお答えください。（発注側）



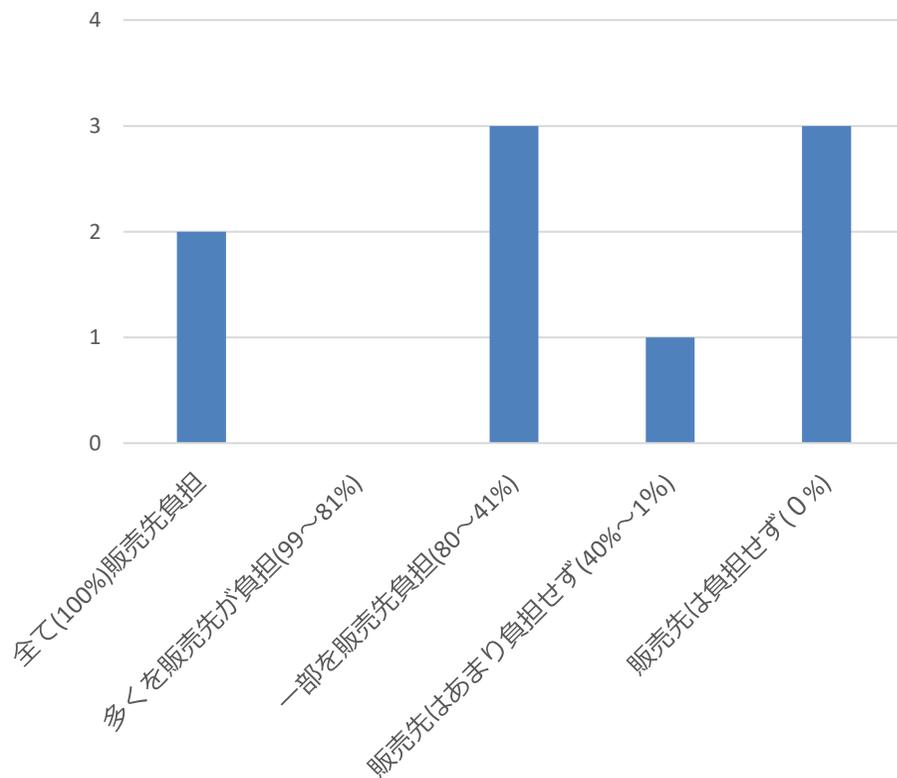
【設問と回答】

直近1年間の販売先が実施した働き方改革に関された対応*の結果、受けた影響についてあてはまるものを選んでください。また、これにより発生した短納期発注や急な仕様変更を行った際のコスト負担状況をお答えください。
(受注側)

受注側



受注側



3. 取引適正化に向けた今後の取組

【今後の取組】

- ・ 課題共有と適正取引の推進のため、取引適正化ガイドラインフォローアップ研修会を継続実施し、回答率の向上のため、自主行動計画による取組の趣旨等について周知する。

(参考) パートナーシップ構築宣言への取組状況等

【取組状況】

- ・ 会員企業数：116社（うち、資本金3億円超の大企業33社）
- ・ 宣言企業数：20社（うち、資本金3億円超の大企業8社）
- ・ 会員企業に占める宣言企業の割合：17.2%
- ・ 資本金3億円超の大企業に占める宣言企業の割合：40.0%

【今後の取組】

東日本電線工業協同組合、西日本電線工業協同組合の協力も得ながら、
個社単位で個別に理解を求めていく。